

使用者の声

「殺虫殺線虫剤 ネマトリンパワーD粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。

殺虫殺線虫剤
**ネマトリン
パワーD** 粒剤
®は登録商標

【かんしょ】 鹿児島県 井手さん

線虫とコガネムシ幼虫の両方を防除でき、 ガス抜きの手間もない。 品質と出荷量が安定しました。



大きな手間だった2回の防除が1回に。 コストも減って嬉しい変化。

鹿児島県で焼耐用のかんしょをメインに栽培している井手さん。
13haの畑を、ご両親と奥様の計4名で切り盛りしています。

焼耐用のかんしょ栽培において問題となる害虫は、主に線虫とコガネムシ。「線虫の被害に遭うと、形がボコボコになったり、割れたりし、コガネムシだと幼虫に食べられた傷ができる。選別にも手間がかかりますし、被害にあったかんしょの出荷は出来ず、出荷量が減って

しまいます」と、害虫被害が大きいことを話してくれました。

これまでは線虫対策としての土壌くん蒸剤と、コガネムシ対策としての殺虫剤を別々に処理していたので、2回の防除作業が必要でした。さらに、土壌くん蒸剤はガス抜きが必要なこともあり、「大きな手間だった」と井手さんは振り返ります。

そこで2023年、ネマトリンパワーD粒剤を試験的に使ってみたところ、簡便性に驚いたそうです。「線虫とコガネムシ幼虫の防除が一度で済むようになり、作業の手間が減ったことが一番の変化です。薬剤コストも大きく削減できました」と笑顔を浮かべてくれました。

最終収穫時に残効の長さを実感。 綺麗なかんしょが安定して採れるように。

使いやすさだけでなく、もちろん効果の面でもメリットを実感されています。「以前は害虫被害に遭ったことがありましたが、ネマトリンパワーD粒剤を使ってみると、線虫、コガネムシの被害が抑えられていました。5月に定植した苗を12月に収穫した時、きれいな芋が採れたので、残効も長いと思います。ネマトリンパワーD粒剤を使ったほ場では、収量と品質が安定しています」と、優れた効果と長期残効性を感じられた様子。良い結果が得られたこともあり、昨年は試験的に一部の畑での使用でしたが、今年からはすべての畑をネマトリンパワーD粒剤に切り替えるそうです。

かんしょが害虫被害に遭っているかどうかは、収穫してみないとわからないからこそ、「収穫機のベルトコンベアーに綺麗なかんしょが流れてきた時が一番の喜びです」と話す井手さん。「これからもネマトリンパワーD粒剤を使っていこうと思います」と、継続の意思を固められていました。

※取材時(2024年2月)における個人の感想をもとに作成しています。



*槍は合成です。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。